

以下の内容で開催いたしました



平成27年度 Clayteam 総会 / 第21回 Clayteam セミナー 戦略的イノベーション推進と産総研の橋渡し研究

日時 2015年5月12日(火) 13:00～17:10(受付12:30～)
場所 産総研臨海副都心センター 別館(バイオ・IT融合研究棟) 11階会議室1
主催 産総研 化学プロセス研究部門 Clayteam

産業技術総合研究所は公的研究機関として、持続可能な社会構築を目指して、日本の産業や社会が抱える課題に対し、解決策と新たな方向性を提示すべく、多岐に渡る研究活動を行っています。低環境負荷材料の開発の一環として、SIP次世代農林水産業創造技術「地域のリグニン資源が先導するバイオマス利用システムの技術開発」を実施しています。本セミナーでは、本事業の研究代表者である森林総合研究所の山田竜彦木材化学研究室長をお呼びしてその概要や進捗について御紹介する機会といたします。産総研は平成27年度に新たな中長期計画を策定していますが、この計画の大きな柱となるのが、革新的な技術シーズを製品化・事業化に磨き上げていく「橋渡し」機能の強化となります。本セミナーでは産総研の新たな材料系部門の御紹介と材料系シーズの中からおすすめ技術を御紹介します。2014年7月、経済産業省は業界団体を通じたコンセンサスを求めない「新市場創造型標準化制度」を創設しました。この制度を用いることによって、迅速な国際標準提案やJIS化が可能となります。本制度について、経済産業省産業技術環境局基準認証政策課よりご紹介いただきます。本セミナーは以上のように産学官が一体となった新しい展開を俯瞰する機会としたいと思います。

[プログラム] (敬称略)

- 13:00-13:40 平成27年度総会
13:40-13:55 休憩
13:55-14:05 開会挨拶
14:05-14:40 【座長】林 拓道(産総研)
【基調講演】
「地域のリグニン資源が先導するバイオマス利用システムの技術革新(SIPリグニン)」
◆山田竜彦 森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 木材化学研究室長
筑波大学 生命環境系 教授(連携大学院)
14:40-15:05 「リグニン-粘土ハイブリッドマテリアルの開発」
◆石井 亮 産総研 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ長
15:05-15:20 休憩
15:20-15:40 【座長】姥名武雄(産総研)
「産総研化学プロセス研究部門の紹介-化学ものづくりの橋渡し研究拠点を目指して-」
◆濱川 聡 産総研 化学プロセス研究部門 部門長
15:40-16:15 「二酸化炭素を利用した樹脂表面へのナノ構造付与技術の開発」
◆相澤 崇史 産総研 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシングG
上級主任研究員
16:15-16:50 「キャパシタ電極用カーボン材料の研究」
◆棚池 修 産総研 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシングG主任研究員
16:50-17:10 「新市場創造型標準化制度について」
◆今井 浩司 経済産業省産業技術環境局基準認証ユニット基準認証政策課 係長
(企画担当)
17:10 閉会挨拶
17:30～ 懇親会